



令和2年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和2年2月14日

上場会社名 株式会社 フライトホールディングス
 コード番号 3753 URL <http://www.flight-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長
 四半期報告書提出予定日 令和2年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 片山 圭一郎
 (氏名) 松本 隆男
 TEL 03-3440-6100

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年3月期第3四半期の連結業績(平成31年4月1日～令和元年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第3四半期	3,791	319.1	755	—	700	—	532	—
31年3月期第3四半期	904	△32.9	△379	—	△371	—	△373	—

(注)包括利益 2年3月期第3四半期 533百万円 (—%) 31年3月期第3四半期 △375百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第3四半期	56.36	—
31年3月期第3四半期	△39.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2年3月期第3四半期	2,713	881	32.5	93.17
31年3月期	894	347	38.9	36.77

(参考)自己資本 2年3月期第3四半期 881百万円 31年3月期 347百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2年3月期	—	0.00	—	—	—
2年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和2年3月期の連結業績予想(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	181.3	560	—	500	—	330	—	34.90

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2年3月期3Q	9,456,500 株	31年3月期	9,456,500 株
② 期末自己株式数	2年3月期3Q	949 株	31年3月期	912 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2年3月期3Q	9,455,585 株	31年3月期3Q	9,455,614 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益、雇用環境や個人消費に改善が見られ、緩やかな回復基調が続いているものの、通商問題の動向が世界経済に与える影響など、先行きは不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループは、既存顧客向けのシステム開発及び電子決済ソリューション

(「Incredist」、「Incredist Premium」、「Incredist Trinity」及び「ペイメント・マイスター」)の開発及び販売に注力いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高3,791百万円(前年同期比319.1%増)、営業利益は755百万円(前年同期は営業損失379百万円)、経常利益は700百万円(前年同期は経常損失371百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は532百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失373百万円)となりました。

(単位:百万円)

	当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
C&S事業(*)	610	606	4	0.7%
サービス事業	3,068	199	2,869	1,442.0%
ECソリューション事業	112	99	12	13.1%
調整額	—	—	—	—
売上高	3,791	904	2,886	319.1%
C&S事業(*)	△219	35	△255	—
サービス事業	1,177	△215	1,393	—
ECソリューション事業	1	4	△2	△61.1%
調整額	△203	△204	0	—
営業損益	755	△379	1,135	—
経常損益	700	△371	1,072	—
親会社株主に帰属する四半期純損益	532	△373	906	—

(*) C&S事業:コンサルティング&ソリューション事業

セグメントの業績は次のとおりであります。

① コンサルティング&ソリューション事業

コンサルティング&ソリューション事業においては、事業会社の基幹システム開発及び既存顧客向けのシステム開発・保守等を行いました。

大型の基幹システム開発案件の進捗遅れ等により、受注損失引当金繰入額164百万円を計上し、減益となっておりますが、本システム開発は数年掛かりの大型案件であり、稼働開始後のシステム保守の受注も見込まれることから、工程全体での収益化を見込んでおります。

以上の結果、売上高は610百万円(前年同期比0.7%増)、営業損失は219百万円(前年同期は営業利益35百万円)となりました。

② サービス事業

サービス事業においては、電子決済ソリューション「Incredist」シリーズの開発及び販売に注力いたしました。

当期に「Incredist Trinity Mini」の大型納品があったことにより、大幅な増収増益となっております。

以上の結果、売上高は3,068百万円(前年同期比1,442.0%増)、営業利益は1,177百万円(前年同期は営業損失215百万円)となりました。

③ ECソリューション事業

ECソリューション事業においては、B2B向けECサイト構築パッケージ「EC-Rider B2B」の開発及び販売に注力いたしました。

受注拡大により増収となりましたが、外注費の増加等により減益となっております。

以上の結果、売上高は112百万円(前年同期比13.1%増)、営業利益は1百万円(前年同期比61.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ1,819百万円増加し、2,713百万円となりました。主な増減要因は、現金及び預金の増加(620百万円増)、売掛金の増加(1,139百万円増)であります。

負債は、前連結会計年度末と比べ1,285百万円増加し、1,832百万円となりました。主な増減要因は、借入金の純増加(428百万円増)、前受金の増加(332百万円増)であります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ533百万円増加し、881百万円となりました。主な増減要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上(532百万円)であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、令和元年11月1日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表した通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	332,591	952,864
売掛金	129,212	1,268,401
商品	97,022	41,701
原材料及び貯蔵品	19,581	32,180
仕掛品	140,783	223,278
その他	75,081	49,013
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	793,273	2,566,439
固定資産		
有形固定資産	31,468	63,976
無形固定資産	4,481	8,712
投資その他の資産	65,050	74,416
固定資産合計	101,001	147,105
資産合計	894,275	2,713,544
負債の部		
流動負債		
買掛金	145,887	95,076
短期借入金	84,866	506,660
前受金	13,442	346,360
未払法人税等	—	171,762
受注損失引当金	16,700	164,900
その他	57,679	311,874
流動負債合計	318,576	1,596,634
固定負債		
長期借入金	209,455	216,541
資産除去債務	14,916	17,066
その他	3,685	2,300
固定負債合計	228,056	235,907
負債合計	546,632	1,832,541
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,205,123	1,205,123
資本剰余金	1,195,798	1,195,798
利益剰余金	△2,052,812	△1,519,868
自己株式	△1,360	△1,399
株主資本合計	346,749	879,653
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	892	1,349
その他の包括利益累計額合計	892	1,349
純資産合計	347,642	881,003
負債純資産合計	894,275	2,713,544

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)
売上高	904,822	3,791,784
売上原価	807,604	2,485,145
売上総利益	97,217	1,306,638
販売費及び一般管理費	476,830	550,751
営業利益又は営業損失(△)	△379,612	755,887
営業外収益		
受取利息	996	54
為替差益	22,285	—
助成金収入	—	2,713
その他	805	133
営業外収益合計	24,087	2,901
営業外費用		
支払利息	15,963	48,519
その他	24	9,738
営業外費用合計	15,988	58,258
経常利益又は経常損失(△)	△371,513	700,530
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△371,513	700,530
法人税、住民税及び事業税	684	166,887
法人税等調整額	1,700	700
法人税等合計	2,384	167,587
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△373,898	532,943
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△373,898	532,943

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△373,898	532,943
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,167	456
その他の包括利益合計	△1,167	456
四半期包括利益	△375,065	533,399
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△375,065	533,399

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンサルティング &ソリューション事業	サービス事業	ECソリューション 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	606,714	199,019	99,088	904,822	—	904,822
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	606,714	199,019	99,088	904,822	—	904,822
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	35,926	△215,910	4,596	△175,387	△204,224	△379,612

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成31年4月1日至令和元年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンサルティング &ソリューション事業	サービス事業	ECソリューション 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	610,917	3,068,823	112,044	3,791,784	—	3,791,784
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	610,917	3,068,823	112,044	3,791,784	—	3,791,784
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△219,331	1,177,367	1,788	959,823	△203,936	755,887

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。